

インフラマネジメント基盤検討事業の進捗状況について

技術企画課

1 要旨

AI/IoTなどのデジタル技術を活用したインフラマネジメントの仕組みづくりとして、県が保有するデータのオープン化や、民間も含め様々な主体が保有するデータの連携・活用を行うシステム基盤の構築を進めることとしており、この基盤構築に必要な基本事項の検討業務に着手したので報告する。

2 目的

- (1) 頻発する集中豪雨などによる甚大な被害の発生、既存インフラの老朽化の進展、人口減少・少子高齢化の進行等による技術者不足等に対応するため、AI/IoTなどのデジタル技術を最大限に活用し、官民連携による最適なインフラマネジメント(広島デジフラ構想)を進めることで、県民の安全・安心の確保、インフラを利用する人の利便性向上を目指す。
- (2) インフラマネジメント基盤検討事業では、道路や河川などの公共土木施設に関するあらゆる情報を一元化し、各種データの融合や市町・民間企業との連携により、新たなサービスや付加価値の創出が可能となるシステム基盤を構築する。

3 業務概要等

(1) 業務名

インフラマネジメント基盤検討事業に係る基本事項検討業務

(2) 業務概要

システム基盤が具備すべき機能等を明確にするため、①取組の全体像の整理、②県が保有するデータの状況整理、③連携を目指す外部データの調査を実施する。

(3) 受注者

EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社

(4) 履行期間

令和2年6月17日(水)から9月14日(月)まで

4 今後の予定

- (1) 本業務における検討結果を基に、システム機能要件やシステム構成などの詳細な仕様等の検討を、下半期に実施する。
- (2) 令和3年度には、システム基盤を調達する予定。

項目	令和2年度				令和3年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
基本事項の整理	▽公告(4/27) ..▽契約締結(6月17日)				
システム基盤の検討					
システム基盤の調達					